

〈記入例〉

農地法第3条の規定による許可申請書

所有権・賃借権 } 設定(期間〇年間)
下記農地(採草放牧地)の(貸) } 使用貸借による権利・その他 } を(移転) }
したいので、農地法第3条第1項に規定する許可を申請します。

令和 年 月 日

様

申請者

譲渡人(貸人) 京都 花子

譲受人(借人) 精華 太郎

記

1 申請当事者の氏名(名称)等

当事者	氏名(名称)	年齢	職業	住所	国籍等	在留資格又は特別永住者
譲渡人(貸人)	京都 花子	80	農業	精華町大字北稲八間小字丸山△番地△		
譲受人(借人)	精華 太郎	60	農業	精華町大字南稲八妻小字北尻△番地△	日本	

2 許可を受けようとする土地の所在等

所在・地番	地目		面積 m ²	作付作物 及び10ア ール当 り普通収 穫高 kg	利用状 況	所有者 氏名 (名称)	所有 期間	利用者		備考
	登記簿	現況						氏名 (名称)	利用 権原	
精華町大字 南稲八妻小字 北尻▲番	田	田	1000	480	水稻	京都 花子	30年	京都 花子	所有権	

3 権利を設定し、又は移転しようとする事由の詳細

譲渡人の事由 高齢により規模縮小のため。

(貸人)

譲受人の事由 農業経営を拡大するため。

(借人)

4 権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

時期 令和 年 月 日 契約期間

対価 総額 6,060千円 3.3m²当たり 20千円

(賃料(年額) 円)

5 権利を設定、移転しようとする当事者及びその世帯員等が現に所有し、又は使用収益権を有する農地及び採草放牧地の面積並びにこれらの者が権原に基づき現に耕作又は養畜の事業に供している農地及び採草放牧地の面積

土地の区分 () 内には、 作付作物を記載すること。	譲 受 人(借入)					
	所 有 地			借 入 地		経営地合計 (①+④) m ²
	自作地 ① m ²	貸付地 ② m ²	その他 ③ m ²	現に耕作中の土地 ④ m ²	その他 ⑤ m ²	
田(水稲)	2,650					2,650
畑(サツマイモ)				350		350
樹園地()						
計	2,650			350		3,000
採草放牧地						

※ ③については不耕作地の面積、⑤については不耕作地及び農地法第3条第2項第6号括弧書きに該当する貸付地の面積を記載すること。

6 権利を取得しようとする者又はその世帯員等(構成員)がその耕作又は養畜の事業に従事している状況及びその労働力以外の労働力に依存している状況(法人にあってはその法人のその耕作又は養畜の事業に係る労働力の状況)

	氏 名	年 齢	権利取得者との続柄	年間農作業従事日数	農作業経験(研修)年 数
(世帯員等)	精華 太郎	60	本人	150日	30年
	精華 花子	58	妻	60日	20年
雇用者					
臨時雇用者		年間延べ従事日数 日			

7 権利を取得しようとする者及びその世帯員等の農機具及び家畜の保有状況

種 類	農業用自動車	トラクター	田植機	コンバイン	耕耘機				
既確保	1	1	1	1					

8 周辺地域との関係等

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼす影響を記載してください。

- 地域の農地の利用調整に協力し、周辺地域における農業に支障を及ぼすことはありません。